

統合型リゾート（IR）の構成施設

施設の種類（ I R整備法）	施設要件 （ I R整備法施行令及び国の基本方針）				
1 国際会議場施設及び 展示等施設（MICE 施設）	以下の①～③のいずれかを満たすこと。				
	類型	国際会議場の収容人員		展示場の <u>展示面積</u>	
		最大の会議室	全会議室の合計		
		①	1,000 人以上 3,000 人未満 （一般的な規模）	左記の 2 倍	おおむね 12 万㎡以上 （極めて大規模）
		②	3,000 人以上 6,000 人未満 （大規模）	〃	おおむね 6 万㎡以上 （大規模）
	③	6,000 人以上 （極めて大規模）	〃	おおむね 2 万㎡以上 （一般的な規模）	
2 魅力増進施設	我が国の観光の魅力の増進に資する劇場、演芸場、音楽堂、競技場、映画館、博物館、美術館、レストランその他の施設。				
3 送客施設	以下の①～④を全て満たすこと。 ①ショーケース機能：日本各地の観光の魅力や旅行者に必要な情報を、VR 等の最先端技術等を活用し、効果的・適切な方法で発信 ②コンシェルジュ機能：利用者の関心等に応じ、旅行計画を提案し、必要なサービスの手配をワンストップで実施 ③多言語対応機能：上記①・②について、英語を含め複数の外国語で提供 ④十分な施設規模：多数の来訪客に対応できる情報提供・接客や待合のスペースを具備				
4 宿泊施設	・全ての客室の床面積の合計が、おおむね 10 万㎡以上であること。 ・以下の①～③が国内外の宿泊施設の実情を踏まえ適切なものであること。 ① 客室のうち最小のものの床面積 ② スイートルームのうち最小のものの床面積 ③ 客室の総数に占めるスイートルームの割合 ※「おおむね 10 万㎡」の基準設定に先立ち開催された国の有識者会議では、次の算式について言及 一般客室:約 40 ㎡×2,000 室＋スイート:約 70 ㎡×500 室＝115,000 ㎡				
5 観光客の来訪・滞在の 促進に寄与する施設	上記 2 の魅力増進施設に当てはまらない劇場、競技場、美術館や、ショッピングモール等の集客施設				
6 カジノ施設	専らカジノ行為の用に供される部分（ゲーミング区域）の床面積の上限は、 I R施設の床面積の合計の 3 %。				

※特定複合観光施設区域整備法関連法令では、民間事業者が上記の 1 ～ 6 の一群施設を一体的に設置・運営する必要があると定められている。